

葉取らずリンゴ販売成立条件

佐藤 嘉彦

(岩手県農業研究センター)

How to Sell the Apple Equipped with Sufficient Internal Quality

Yoshihiko SATO

(Iwate Agricultural Research Center)

1 はじめに

「葉取らずリンゴ」はリンゴ生産現場において大部分を占める着色管理作業を省略して生産されるが、その販売成立条件についてはこれまで明らかにされていない。

この「葉取らずリンゴ」について、神奈川県横浜市のスーパー店頭で、来店者に対して面接法による調査を実施した。その結果、被験者は具体的特性である「甘さ」が「強い」ことを重視し、購入経験の少ない若年層でその傾向が特に強く、来店者は外観より内部品質情報を重要視していることが明らかになったので報告する。

1 試験方法

- (1) 調査実施時期 2001年12月
- (2) 供試品種 場内産 葉取らずふじ
- (3) 調査場所 神奈川県横浜市内量販店
- (4) 調査方法

調査票の設問は、現物提示の評定型コンジョイント法を主とし、購入用途、基準・目安、価格受容性等を調査票に記入。コンジョイント法では4属性各3水準のプロファイルを作成した(表1)。

3 試験結果及び考察

(1) 回答者の基本的属性

回収票241件のうち有効票は233件であった。男女別では女性が圧倒的に多く86%で、平均年齢は57.7歳と高かった。

(2) 購入の用途

回答者の97%が家庭用としており、以下の回答については家庭消費の意向であることが確認された。

(3) 回答者の選好するリンゴの姿

4属性各3水準のプロファイルを作成し(表1)、被験者の選好する順に選択させ、コンジョイント分析を行っ

た。属性別では「甘さ」を最重要視し、水準は「強い」ものを選好していることが明らかになった。以下、「みつ入り」、「均一性指数」、「着色程度」の順に選好し、外観より内部品質を重要視している傾向がうかがえた(表2)。

年齢別に選好する属性を検討すると、若年層では「着色程度」や「均一性指数」といった外観に関する属性の選好度が低く、「甘さ」、「みつ入り程度」等の不可視の内部品質情報に関する属性を選好するのに対し、高年層では内部品質情報等よりも外観を選好する結果が強く現れた(図1)。このことは、購入・実食経験豊かな高年層は「外観良=食味との相関大」といった経験則に基く判断をしていると推察される。また、年間の購入数量が1.2kgと購買、経験則のない若年層への訴求点は、内部品質情報の効果的な開示方法にあると考えられた。

(4) 回答者の考える値頃感

消費者が第1位に選好したプロファイルについて、それ以下だとあまりにも安いので品質に不安を感じる価格=『最低価格』、これ以上だとあまりにも高すぎて買わないと思う価格=『最高価格』について問い、購買反応曲線を作成し、最適価格を求めたところ、表4の通りとなり、試食前ではプロファイルDが最高の125.1円であった。また、内部品質情報を明らかにしない外観が「秀」程度のふじは103.7円であった。なお、プロファイルB、Iは選好者が少なかったため、計測できなかった。

(5) 商品情報提示のあり方

店舗での購買行動を観察した結果、当該店では糖度情報表示とみつ入り程度を現物提示しているにも関わらず、商品を手に取って見極めてから購入する消費者が多く見受けられた。店内のPOPに付帯した糖度表示板は1×2センチ程度の大きさだったため、訴求性には乏しいと考えられる。今後は甘さの程度を尺度表示等で表

し、糖度情報を視覚的にアピールすることも必要と思われる (図2)。

4 ま と め

一般のふじと葉取らずふじの着色管理にかかる時間は、葉取らずふじで 10a 当り 51 時間の省力化を実現している。着色管理の程度による製品の出現割合については現在実証圃で試験中である。今後はこれらの成績と消費者の値頃感、卸売市場での買参人の評価等を勘案して、葉取らずリンゴの経済性について検討を行い、食味本位リンゴの生産成立条件について解明する予定である。

表1 調査に使用したプロフィール

プロフィール	着色程度	均一性	甘さ	みつ入り
A	着色程度6	指数4	弱い	なし
B	着色程度3	指数2	弱い	少々
C	着色程度5	指数2	強い	なし
D	着色程度6	指数2	普通	たつぷり
E	着色程度5	指数4	普通	少々
F	着色程度5	指数3	弱い	たつぷり
G	着色程度3	指数4	強い	たつぷり
H	着色程度6	指数3	強い	少々
I	着色程度3	指数3	普通	なし
対照	着色程度6	なし	情報なし	情報なし

注) 着色程度6 (赤色濃い) ⇔ 着色程度3 (薄い)
均一性指数4 (葉陰少ない) ⇔ 均一性指数2 (葉陰多い)

表2 全属性のコンジョイント分析結果

属性	重要性	水準	効用値
着色程度	18.8	着色程度3	-0.6361
		着色程度5	0.2003
		着色程度6	0.4358
均一性指数	19.3	指数2	-0.4388
		指数3	-0.0183
		指数4	0.4572
甘さ	32.6	弱い	-1.1483
		普通	-0.0734
		強い	1.2217
みつ入り	29.3	少々	0.0673
		なし	-1.1896
		たつぷり	1.1223

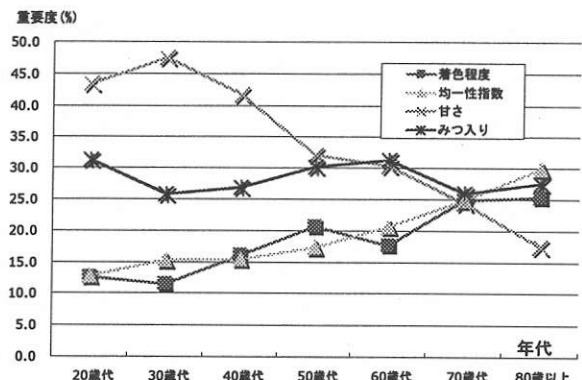


図1 回答者の年代と重要度の関係

表3 購買最適価格 (単位: 円)

プロフィール	試食前最適価格	購入確率
A	102.6	0.57
B	-	-
C	117.9	0.72
D	125.1	0.82
E	115.0	0.88
F	102.2	0.74
G	121.5	0.78
H	115.1	0.78
I	-	-
対照	103.7	0.72



図2 店頭での販売状況